

障害者が生き生きと暮らせる町づくり

西伯病院に勤務して22年がたちました。精神科医として仕事をさせていただいてきました。昨年病気をして9か月間休ませていただき大変ご迷惑をおかけしましたが、いろいろ考える機会も与えられました。精神障害者の治療にあたっては、精神障害の病状を消失・安定させること、生活障害が起こらないように、またそれが最小限になるようにすること、更に、自信を持って自分の人生を生き抜いていかれるようにお手伝いすること、までが含まれると考えて来ました。そのことは今も変わっていません。新しい病院ができ、私は本当にうれしく思っています。自信を持って「入院しませんか」と勧めることができるからです。おかげで病棟は満床。職員の疲れを心配しなければなりません。そして私が自身の病床で考えたことは、入院した方が、またそれぞれの地域に帰って元気で生活していただきたい、病気を克服した人たちが生き生きと生活する町づくりを本格的にやりたい、ということでした。

南部町はすでに福祉の町として知られています。このことは町民の皆様の誇りでもあろうかと思えます。現在障害者福祉が大きく変わろう

としています。身体障害、知的障害、精神障害というすべての障害者への福祉サービスを、町が責任主体となって行っていくことが義務付けられた法律、「障害者自立支援法」が今年の10月から本格的に導入されます。障害者の福祉サービスにおいて、介護保険と同じように、サービスの1割を自己負担して、サービスが受けられるようになります。「そのサービスはうちではやっていません」では済まされなくなります。私たちは障害者が、施設にいるのではなく、地域の中で生き生きとして過ごしていられる町づくりを更に進めていくことができる時を迎えたのです。

町の障害福祉を担当する方、障害当事者の方、家族の方、町民の方々と一緒に、こんなことを考える場を作りたいのです。わが町にまたひとつ誇りを加えることになると私は信じています。



ながぶち ただふみ
副院長 長瀬 忠文

ご意見うけたまわり箱の設置について

西伯病院をご利用いただく皆様からご意見をうかがいながら、より良い病院づくりをしていくために「ご意見うけたまわり箱」を、院内に設置しています。

職員の接遇、施設設備の不具合、外来の待ち時間などについて、皆様のご意見をお聞かせください。



西伯病院の午後診療について

月	火	水	木	金
呼吸器 山本		脳神経内科 大学医師	呼吸器 山本	
		もの忘れ 外来		
小児科 庄司	小児科 庄司	小児科 庄司	小児科 庄司	小児科 庄司
歯科 小谷	歯科 園田	歯科 園田	歯科 園田	歯科 園田

○呼吸器、脳神経内科、もの忘れ外来、歯科は予約診療となっていますので、事前に予約をお願いします。

○小児科は、午後(13:30~16:30)も毎日診療しています。乳・幼児健診、予防接種などのため、医師が不在の場合がありますので電話連絡のうえ、ご来院ください。

○内科、外科、整形外科、精神科については、午後は救急対応となります。外科、整形外科については、手術などのため診療できない場合がありますので、電話連絡のうえ、ご来院ください。

西伯病院 TEL 0859-66-2211